



燃費テスト報告書

「馬力向上」さらに「燃費向上」スポーツマフラー

P.B.S パワーブーストシステム搭載

インサイト DAA-ZE2 パワー / トルク / 音量 / 重量データ (社内データ)

装着マフラー	パワー (ps)	トルク (kg・m)	7ftリッジ音量 (dB)	近接音量 (dB)	重量 (kg)
ノーマルマフラー	105.0	14.9	54.0	78.0	3.5
GANADOR P.B.Sマフラー	111.7	16.7	59.0	80.0	6.9

インサイト DAA-ZE2 燃費対比テストデータ (社内データ)

装着マフラー	テスト日	天候	走行距離 (km)	給油量 (L)	燃費向上率
ノーマルマフラー	2009/9/28	晴れ	151.0	7.54	...
GANADOR P.B.Sマフラー	2009/9/28	晴れ	151.0	6.87	9.8% 向上

対比の為マフラー交換後、再度走行

出発地点 一般道路

給油後、一般道路からスタート。

高速道路 同一速度での走行厳守。

往路 一般道路

山まで、しばらく一般道路。

登坂道路 マフラーの威力を発揮する連続した登り坂。

中間ポイント 中間地点

頂上で、一休憩。

降坂道路 下り坂も同一ペースで走行。

復路 一般道路

山を降りて、しばらく一般道路。

到着地点 到着ポイント

決められたスタンドで、同じ給油条件で燃費計測。

高速道路を降りて一般道路へ。

ここでも同一速度をキープ。

一般道路

PAE-026シリーズ
インサイト用馬力向上・燃費向上マフラー

右ダブル出し 燃費向上率9.8%UP

総走行距離 151.0Km
 一般道路 31.8km (21.1%)
 高速道路 95.0km (62.9%)
 山間道路 24.2km (16.0%)

Power : +6.7ps Torque : +1.8kg・m
P.B.S効果のデータです。

※1 P.B.S(パワーブーストシステム)の詳細は、弊社ホームページをご覧ください。

開発者のコメント

- インサイト専用のマフラーは、コンパクトな排気量でも、低回転から盛り上がるトルクと、高回転までグーンと伸び上がるパワーを重視して設計しました。
- インサイトはもともと燃費が良いハイブリッドカーである為、各種テストは正確なデータを出すのに何度も繰り返しテストを行いました。

トルクデータ

パワーデータ

※データは、当社シャシダイナモでの計測値です。
 ※ノーマルマフラーのデータ値は、車両前後差・気温・気圧等の条件によりメーカーカタログ公表値とは異なる場合があります。
 ※比較データ値は、全て同じ条件下で計測しています。

●当社実走行燃費比較テスト内容

お客様ご自身で検証を行う際は、下記ポイントを参考にして正しい方法で行って下さい。

① テスト環境
(強風・雨・渋滞では中止)

悪天候の時はダメ
同じコンディションで
測定しています。

- 同じ気温・気象条件で行っています。
- 強風・雨天などの悪天候、朝夕のラッシュ時を避け、同じ条件の日に実施。
- ➡ 途中で渋滞や強風が発生したら中止し、初めからやり直します。

② 走行条件
(距離・速度を適正に保つ)

一般道や高速道路や
山道をおりませています。

- 【走行距離】当社参考データ
一般道 32 km (約 21%)
高速道路 95 km (約 63%)
山道 (登り・下り) 24 km (約 16%)
※一般道のみ走行や距離が短すぎる場合、測定精度が落ちます。
- 【速度設定】当社参考データ
一般道及び山道は、交通法規に準じ、流れに合わせます。
高速道路は、法定速度にて巡航。

③ 満タン法
(同じ給油条件)

車両のタイヤ位置と
向きを同一にし、
同じ油面で給油して
います。

- 燃費対比テストは最も正確と思われる「満タン法」で行っています。
- ※給油時の注意
同一のスタンドにて、同じ車両の向き、同じタイヤ位置で停車し、同じ油面で正確に給油し計測しています。
(車載の燃費メーターでは正確に測定できませんので要注意です。)
- 走行距離 (km) ÷ 給油量 (L) = 燃費 (km/L)
➡ 満タン給油時にオドメーターをリセット。

④ 運転方法
(加速度と所要時間が同じであることを同じに行なう)

ノーマルで50km/hまでの
加速時間が50秒の時、
ガナドールマフラーの時も
同じ50秒で加速しています。

- 同じ距離を、同じ加速、同じスピード、同じ所要時間でテストしています。
- 【良い例】例えば、ノーマルで50km/hまでの加速時間が50秒の時、ガナドールマフラーの時も同じ50秒かけて加速するのが比較条件。
- 【悪い例】加速が早く、所要時間が短かった場合、アクセルを踏み込み過ぎているので比較テストになりません。
➡ 省エネ効果が得られません。

同じ条件での運転で比較した場合、9.8%向上しました。

表記データは上記コース及び条件で当社の計測した結果です。